

観光協会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響下にある今年度、環境省の「国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業」に取り組んでいます。

ワーケーションとは、ワーク（労働）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でリモートワークを活用しながら、働きながら休暇をとる過ごし方を意味します。

ハワイ州カウアイ島と姉妹島であり「瀬戸内のハワイ」として親しまれている周防大島は、豊かな自然と利便性がバランスよく共存しており、約100kmの海岸線を周遊できる国道と県道が整備され、内陸には600m級の峰々が連なり、凪いだ瀬戸内海には大小の無人島が点在するなど、島しょならではのアウトドアフィールドが点在しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるアウトドア需要が高まる中、モンベルとの包括連携協定、YAMAPの瀬戸内アルプス縦走ピンバッジ事業、アウトドアオフィスとしてスノーピーク「住箱」の設置など、アウトドアメーカー各社との業務連携など記憶に新しいところです。

このような機運の高まりに呼応して観光協会では「瀬戸内のハワイでワーケーション」と銘打ち、3密を回避しながら持続可能なSEA TO SUMMITを規範としたアウトドア体験を手ぶらで楽しめる「カジュアルアウトドア」でリフレッシュしながら、ハワイを彷彿とさ

せるロケーションでリモートワークに取り組めるワーケーション事業を立ち上げました。

「新常態」時代の働き方を見据え、企業のワーキンググループや個人のリモートワークを受け入れ可能なアウトドアオフィスを新設し、コテージ泊やテント泊にラグジュアリーなリゾートホテル泊、これにアウトドア料理やフラダンスショーなどを絡めた、瀬戸内のハワイならではのワーケーションモデルを構築し、企業研修等を受け入れることで関係人口との結びつきを深め、ひいては企業のサテライトオフィスの誘致に繋がることを期待しています。

☎周防大島観光協会 ☎0820 (72) 2134



▲片添ヶ浜オートキャンプ場にアウトドアオフィスとしての活用を目的に設置された「住箱」

お元気で すか？ こころは 保健師です

周防大島町保健師
 中本 奈美

アレルギー予防は スキンケアから

1月は気温もぐっと低くなり、乾燥が気になる時季です。私たち保健師が、赤ちゃん訪問で必ずお伝えしていることがあります。それは、ベビーソープなどのたっぷりの泡を使って全身を優しく洗い、入浴後は保湿剤を使ってしっかりと保湿するスキンケアの大切さです。

そのため、乳幼児期から、保湿剤を上手に使用して乾燥を防ぎ、湿疹などの炎症は、治療薬を適切に使用し、皮膚をよい状態に保つことが、アレルギー予防になると言われています。

健康な皮膚には、雑菌やウイルスなどから体を守る機能があります。しかし、乾燥肌や湿疹などの炎症が起きている肌はこのバリア機能が低下した状態になります。そこに食物が付着すると、免疫細胞が異物とみなして、食物アレルギーを起こしやすくなります。

アレルギーの対応は、子育て中の家庭にとって、とても悩んでしまう問題の一つです。また、アレルギー疾患は個人差が大きいため、心配なことは自己判断せず、主治医とよく相談することが大事です。

子育て世代包括支援センターでは、妊娠・出産・子育てに関する相談をお受けしています。いつでも気軽に相談ください。

☎0820 (73) 5511
 Ohana
 子育て世代包括支援センター